シラバス（理科 化学基礎）

科目名	化学基礎	学年	1	使用教材	教科書	高等学校　化学基礎	東京書籍
		必履修の別（必・選必・コース選）	必		副教材	ニューステップアップ化学基礎	東京書籍
学科	普通科	単位数	2				
系統科目	化学基礎探究（3年選択・2単位）、化学（4単位）						

【学習目標】

1 化学が物質を対象とする科学であることや、化学が人間生活に果たしている役割を理解できる。

2 生徒自らが課題を見付け，考え，見通しをもって主体的かつ意欲的に観察，実験などに取り組む。

3 自然の事物・現象の中から物理学的な立場で問題を見出し，観察，実験を中心に科学の方法を適用しながら問題を解決していくという探究の過程をたどらせることによって，科学の方法を習得させ，化学的に探究する能力や態度を培う。

4 化学的な事物・現象に関する基礎的な知識及び基本的な概念や原理・法則を深く，系統的に理解する。

5 化学反応の量的関係、酸と塩基の反応および酸化還元反応の基本的な概念や法則が理解できるとともに、日常生活や社会と関連づけて考察できる。

【学習方法のポイント】

○ 日々の授業の復習を、その日のうちに行う。
○ 学んだ化学現象について理解を深め、公式の丸暗記に終わらないように理解を深める。
○ 教科書やインプレス化学基礎ノートの問題を活用し、問題演習を通して理解を定着させる。

【学習評価と観点】

○ 次の4つの観点に基づき、学習内容のまとまりごとに下記の評価マトリクスにより評価を行い、学年末に5段階の評定に総括します。

①自然事象への関心・意欲・態度	自然の事物・現象に関心や探究心をもち，意欲的にそれらを探究しようとするとともに，科学的態度を身に付けている。
②思考・判断（科学的な思考）	自然の事物・現象の中に問題を見出し，探究する過程を通して，事象を科学的に考察し，導き出した考えを的確に表現している。
③観察・実験の技法・表現	観察，実験を行い，基本操作を習得するとともに，それらの過程や結果を的確に記録，整理し，自然の事物・現象を科学的に探究する技能を身に付けている。
④自然事象についての知識・理解	自然の事物・現象について，基本的な概念や原理・法則を理解し，知識を身に付けている。

評価方法／観点	①	②	③	④	備　考
学習状況観察	◎	―	―	―	
ワークシート	◎	○	◎	○	課題プリント、実験レポート等を含む
テスト	―	◎	○	◎	定期考査・小テスト

※表中の◎は観点の中でより重視するところです。

○ 学習の記録簿を活用しすることで、自らの学習状況をチェックし、目標達成に努めましょう。

【定期テスト範囲（目安）】※追加・変更することもある。

			教科書（単元）	備　考
学期	1学期	中間	化学と人間生活、物質の構成とその分離	
		期末	原子の構造、化学結合	
	2学期	中間	物質量と化学反応式	
		期末	酸・塩基反応	
	3学期	学年末	酸化還元反応	

【学習サポート】

○ 大学入試問題など、授業の教材以外についても対応しますので、ぜひ質問に来て下さい。
○ 学習方法や問題集選びなどの相談にも対応します。